

2016年のキーワードは「開」
あらゆる方向に開かれ、オープンで風通しの良いバンダイナムコグループとして、
グローバル市場で次のステージに向けた時代を切り開いていく

(株)バンダイナムコホールディングス

この中期計画の重点戦略である「IP 軸戦略の進化」と「グローバル市場での成長」を更に強気に推進していこうという思いもこめまして、2016年のキーワードとして「開」を選びました。「開」という言葉には、開かれた、自由な、限定されない、広々とした…等の意味があります。

まず、「IP 軸戦略の進化」を推進するために、グループ内だけに閉じることなく、多様性のある外部のパートナーと組む開かれたバンダイナムコグループでありたいと思います。グループだけでなく、外部からも刺激を受けることで、より良い形で、新規 IP 創出、既存 IP のイノベーション、IP 出口の拡大に取り組んでいきます。

次に、「グローバル市場での成長」に向け、海外の各地域での展開を更に開いていきたいと思えます。IP ラインナップや事業、エリア拡大のため、現地のパートナーとも連携し、日本のバンダイナムコから、グローバルで存在感を持つバンダイナムコとなることを目指します。

そして、環境変化がどんどん速くなる中、常に流行など最先端のものに対しても、開かれた存在でありたいと思えます。時代の先端技術を積極的に取り入れ、お客様の思いの一步先に行く、新たな商品・サービス、出口を生み出し続けていきたいと思えます。

2016年を迎えるにあたり、気持ちも新たに、あらゆる方向に開かれ、オープンで風通しの良いバンダイナムコグループであり続けることを目指し、グローバル市場で次のステージに向けた時代を皆で切り開いていきましょう。

(株)バンダイナムコホールディングス 代表取締役社長
田口三昭

※2016年1月4日にグループ社員向けポータルサイトに掲載したメッセージ概要を
まとめました。